

2 口腔機能の維持・向上対策

施策項目	取組	所管課	令和3年度の計画・方向性	令和3年度の実績・成果	令和3年度の 評価	令和4年度の計画・方向性
子どもの口腔機能の発達	・ 健診時等の離乳食についての指導、個別相談など乳幼児の保護者や、健康教育などを通じ、幼稚園や保育園、こども園の保護者に対して、子どもの歯や口の発達状況に応じた食事の献立や水分の摂取に関する知識を普及します。	すこやか生活課 保育幼稚園課	・ すべての乳幼児健診において、栄養士が出動し、相談に対応する。 ・ 出前講座を積極的に行ない、地区会館等での知識の普及や相談を行う。 ・ 予約制でのすくすく健康相談で個別栄養相談の実施。	【実績】 ・ 集団離乳食指導(4か月児健診):354人 ・ 乳幼児健診時の栄養相談 183人 10か月児健診:132人 1歳6か月児健診:37人 2歳6か月児健診:9人 3歳6か月児健診:5人 ・ 食事、栄養関連出前講座:11回134人 ・ すくすく相談会 150人 ・ その他、栄養士による栄養相談(乳幼児健診、すくすく栄養相談除く):68件 ・ 子育てタウンアプリを通し、乳幼児期の食事に関するコラムを配信 【成果】 ・ 感染症対策をしながらの実施で、出前講座も事前予約制や定員制が多く、受講していただける人数に制限があるものの、予定通り対応できた。	1	・ 4か月児健診時に動画による離乳食についての講話を実施する。 ・ すべての乳幼児健診において、栄養士が出動し、相談に対応する。 ・ 出前講座を積極的に行ない、地区会館等での知識の普及や相談を行う。 ・ 予約制でのすくすく健康相談で個別栄養相談を実施する。 ・ 子育てタウンアプリで食育コラムを配信する。
	・ 歯や口の機能の発達を育む食育活動を展開します。		・ 栄養バランスがよく噛む力を育成できる様な給食や弁当を通じて、食への関心を高め望ましい食習慣の定着へ向けた支援を行う。	【実績】 ・ 栄養バランスがよく噛む力を育成できる様な給食や弁当を通じて、食への関心を高め望ましい食習慣の定着へ向けた支援を行った。また、保護者に対しても園だよりや保健だよりを通じて食育に関する記事を掲載し、啓発を行った。 【成果】 ・ 当初の予定通り実施できた。		・ 栄養バランスがよく噛む力を育成できる様な給食や弁当を通じて、食への関心を高め望ましい食習慣の定着へ向けた支援を行う。

施策項目	取組	所管課	令和3年度の計画・方向性	令和3年度の実績・成果	令和3年度の 評価	令和4年度の計画・方向性
子どもの口腔 機能の発達	・幼稚園や保育園、こども園での給食において、噛む力を育成するための献立づくりを行います。	すこやか生活課 保育幼稚園課	・保護者に対しても、栄養バランスや望ましい食習慣、噛む力の育成について、園だより等を通じ啓発を行う。	【実績】 ・保護者に対しても、栄養バランスや望ましい食習慣、噛む力の育成について、園だより等を通じ啓発を行った。 【成果】 ・当初の予定通り実施できた。	1	・保護者に対しても、栄養バランスや望ましい食習慣、噛む力の育成について、園だより等を通じ啓発を行う。
	・健康教育時、むし歯予防に加え、幼児にもお口の体操等普及し、意識して口の周りの筋肉を鍛えていきます。		・「わくわく子育て応援プログラム」の講座の中で、「噛む力を育てる」ことについての講話を行う。 ・乳幼児健診等で、保護者への周知を行う。 ・園での健康教育実施時にお口の体操を取り入れる。	【実績】 ・わくわく子育て応援プログラムの噛む力を育てる回（35組/5か所） ※緊急事態宣言等により、小津会館と守山会館での開催は中止 ・子育てタウンアプリ等での情報提供の実施 【成果】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となったが、内容は予定通り実施できた。また、乳幼児健診実施時に個別に周知することもできた。	2	・「わくわく子育て応援プログラム」の講座の中で、「噛む力を育てる」ことについての講話を行う。 ・乳幼児健診等で、保護者への周知を行う。 ・園での健康教育実施時にお口の体操を取り入れる。

施策項目	取組	所管課	令和3年度の計画・方向性	令和3年度の実績・成果	令和3年度の 評価	令和4年度の計画・方向性
大人の口腔機能の保持・増進	・食べ物を食べたり、飲み込んだりする機能の低下を予防したり、口腔機能の向上を図るために、筋肉を使った体操等気軽に行える具体的な方法について普及、啓発します。	すこやか生活課 地域包括支援センター	・「お口の健康と栄養について」出前講座を実施し、必要に応じて言語聴覚士や歯科衛生士等の専門職を派遣する。 ・一般介護予防事業の中で「かみかみ百歳体操」を紹介する。 ・守山百歳体操および健康のび体操の自主グループを対象に、体力測定を実施し、口腔に関する課題に該当した場合、言語聴覚士等の専門職を派遣し、口腔機能の向上や口腔ケアについて専門的な指導を行う。 ・口腔体操を含む「もりやまプラス体操」のDVDを配付し、口腔機能の改善に努める。	【実績】 ・新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、「新しい日常生活における健康的な過ごし方」を自治会回覧により啓発した。 10月：感染予防とお口の健康 ・出前講座を2回実施し、周知・啓発を行った。	1	・「お口の健康と栄養について」出前講座を実施し、必要に応じて言語聴覚士や歯科衛生士等の専門職を派遣する。 ・一般介護予防事業の中で「かみかみ百歳体操」を紹介する。 ・既存の自主グループにおいて、「かみかみ百歳体操」への取組を促進する。 ・守山百歳体操および健康のび体操の自主グループを対象に、体力測定を実施し、口腔に関する課題に該当した場合、言語聴覚士等の専門職を派遣し、口腔機能の向上や口腔ケアについて専門的な指導を行う。 ・介護予防教室を開催し、口腔機能について講義を行い、周知・啓発を行う。
	・よく噛むことによって、脳の活性化や認知症予防、認知症の進行予防が期待できることから、咀嚼の効果について広く周知します。			・守山百歳体操立ち上げ支援時に「かみかみ百歳体操」の紹介を行った。 7グループ ・守山百歳体操および健康のび体操の自主グループを対象に体力測定を実施し、口腔に関する課題に該当した場合、言語聴覚士より口腔機能の向上や口腔ケアについて専門的な指導を行った。 - グループ数：15グループ/20グループ - 参加者人数：127名 ※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、5グループは実施できず。 ・自主グループ交流会にて、口腔機能向上のためのレクリエーションの紹介を行った。また、啓発物品として通いの場の参加者に舌ブラシの配布を行った。 ・各医療機関、薬局、各種教室開催時、健康相談会、保健事業における訪問時にDVDの配布を行った。 - 配布枚数：約2,400枚	1	
	・65歳以上で口腔機能の低下が疑われる人に対し、口腔機能の維持、向上のための教室を開催します。			【成果】 フレイル予防の一環として、口腔ケアや口腔機能について様々な方法で周知啓発に努め、口腔機能の維持・向上を促進した。	1	
	・老人会やサロン等で実施する運動メニューの中に健口体操（お口の体操）などを取り入れ、市民が日頃から口腔機能の維持、向上に取組めるように促進します。				1	